

■第10回ラオス本邦研修

国際協力部は、平成29年1月29日（日）から同年2月11日（土）までの間、大阪において、ラオスにおける法曹養成制度の改善等を目的として、事件記録教材を利用した刑事模擬裁判の実施や法科大学院における模擬授業の見学等を内容とした第10回ラオス本邦研修を実施しました。



【模擬裁判の様子（大阪中之島合同庁舎国際会議室）】

研修員は、法曹養成における模擬裁判の有効性を学ぶために、日本の刑事事件記録をラオス語に翻訳した事件記録教材を題材に、裁判官役、検察官役、弁護士役に分かれて、ラオス刑事訴訟法に基づく刑事模擬裁判を行いました。研修員は、入念な準備を重ねた上で本番に挑んでおり、被告人役及び被害者役の当部教官に対し、鋭い質問をしていました。



【模擬講義の見学の様子（大阪大学大学院）】

研修員は、日本の法科大学院における民事科目の教育方法を学ぶため、大阪大

学大学院高等司法研究科を訪問し、藤本利一教授及び川上良特任教授による民事科目（「民法及び民事訴訟法の知識を利用して民事事件を解決する方法を学ぶ」）に関する模擬講義を受け、その後、藤本教授らと質疑応答を行いました。